

北海道議会議員選挙選挙公報（札幌市西区選挙区）

北海道選挙管理委員会

自民党公認

和田のりとも



私の決意

どうに住んでいても、安心して暮らしていく地域づくり。どこに住んでいても、必要なサービスを受けることができる体制づくり。

誰もが住み慣れた場所で、一生涯暮らしていくように、地域全体で支え合う医療・介護・福祉の充実で北海道に暮らす一人ひとりに安心な未来を届けたい。

北海道・西区の確かな未来へ。

ダイナミックに推進する6つの政策

プロフィール

業昭和41年(1966年)生まれ。三輪町立三輪中学校、北海道高崎・千葉商科大学卒業。北海道議会議員(第1期)当選。現在の職務は、道議会議員、札幌市議会議員、札幌市立札幌西高等学校卒業。

○その他：北海道議会議員、札幌市議会議員、札幌市立札幌西高等学校卒業。

○社会活動：北海道議会議員、札幌市議会議員、札幌市立札幌西高等学校卒業。

(1)自然災害から道民の生命・財産を守るために社会インフラ整備、人口減少に負けない力強い経済の確立を強力に進めます。

(2)医師・看護師の確保を含む地域包括ケアシステムの確立により、医療・介護の充実、障がい者福祉の強化を国ります。

(3)除雪のレベルアップにより、子育て世帯・高齢者世帯でも安心・安全に暮らせる快適な冬の生活を実現します。

(4)サイバー犯罪・振り込め詐欺などの未然に防止する防犯体制の強化、飲酒運転の根絶など、暮らしの安心・安全を守ります。

(5)外国人インバウンド観光の推進、北海道新幹線札幌延伸の早期開業を起爆剤に、本道経済の活性化を図ります。

(6)北海道の未来を切り拓くグローバル人材を育成するための教育環境の整備特別支援教育の充実を推進します。

立憲民主党公認

たけだ浩光



活かします！ 医療現場の経験
めざします！ 住みやすい街
取り組みます！ 平和な社会

地域医療を確保し、住民の暮らしを守る
地域事情に応じた医療環境の確保
医療従事者の勤務環境改善
介護や医療などのサービス充実のための地方財政の確立
災害に強い医療体制の確保

住みやすい「西区」「北海道」を

多様な高齢者ニーズの対応
障がい者も安心して暮らせる街づくり
待機児童の解消認可保育所や病児病後児保育のさらなる整備
地域における支援拠点や相談体制の整備などを

子育てサポートの充実

同価値労働回賃金の実現
安定した雇用の確保
世代間の働き方の実現

平和で人権が守られる社会の実現

安心・安全な社会の実現

再生可能エネルギーのさらなる活用推進

原発に依存しないエネルギーの構造転換

災害に備え災から復旧までを含めた防災対応

社会的弱きの実現

「改悪反対」

平和で人権が守られる社会の実現

憲法理念の柱である「平和主義」「国民主権」「基本的人権の尊重」

集団的自衛権の行使を正当化するための憲法改悪反対

平和で人権が守られる社会の実現

再生可能エネルギーのさらなる活用推進

原発に依存しないエネルギーの構造転換

災害に備え災から復旧までを含めた防災対応

社会的弱きの実現

「改悪反対」

たけだ浩光 プロフィール

1960年4月13日 江都市生まれ/58歳
1973年3月 札幌市立二十四軒小学校 卒業
1976年3月 札幌市立手稲中学校 卒業
1979年3月 北海道立札幌西高等学校 卒業
1980年12月 北海道大学水産学部 中退
1985年5月 北海道大学医学部附属病院放射線技師学校 卒業
1985年5月 札幌医科大学附属病院放射線技師学校 卒業
2015年4月 札幌医科大学附属病院放射線部 副部長
～2018年7月
2018年12月 札幌医科大学附属病院 退職
2000年11月 医学科学大臣賞(原子力・放射線安全管理功労表彰)受賞
2017年4月 北海道医学大学 客員准教授
～現在
[労働組合歴] 2011年1月 自治労札幌医科大学労働組合 執行委員長
～2013年10月

国民民主党・社民党 推薦



新聞記者、TVコメンテーターを経て、ジャーナリストが道議会のタブーに挑戦！

黒田 伸(年齢 61歳) プロフィール

1957年：鹿児島県出身。
1982年：早稲田大学社会学部卒
同：道新スポーツ東京支社
1988年～2011年：北海道新聞社編集局記者(編集委員)
【主な取材】
＊毛利衛宇宙飛行士とスペースシャトル打ち上げ
＊大相撲横綱婚約式スケープ＊北朝鮮側から板門店撮影
＊ルワング難民キャンプ＊アウェビッツ博物館
＊札幌市役所担当キャップ
著書「田中将大ヒーローのすべて」(北海道新聞社刊)
2012年：北海道教育大学非常勤講師、UHBコメンテーター、NPO法人日本市民スポーツ海外交流協会理事
2013年：北海道スポーツ推進議員会委員
2018年：黒田清隆北海道開拓塾塾長
2019年：黒田清隆没後120年記念祭代表

改革

泊原発は再稼働せず廃炉に。道主導で再生可能エネルギー主体の全国モデルとなる電力会社へ！

若者が誇りを持って働く仕組み作りとアイデア&支援の拡充! 北海道愛を紡ぐ歴史教育の推進!

スポーツ王国北海道をけん引する聖地・西区からPRと観光資源への道を提案!!

北海道に生まれて、そして西区に暮らして良かった。だから、あなたとそして私たちと一緒に北海道の政治を変えられるのは、しがらみのない無所属議員と市民運動です！

道議会答弁調整廃止。議員定数削減、議員報酬、公務調査費削減！ 無所属だからできる推薦！ (一社)道民のちから改革会議理事長・西村弘行(北翔大学・東海大学名誉教授)

無所属

黒田伸



かとうたかひろ貴弘

自民党公認



この4年間、道政課題の解決に向けて全力で活動してまいりました。これからもすべての人が笑顔で暮らし、夢や希望を持つ西区・北海道の未来を新しい時代につぐために努力してまいりますので、大切な一票を預けて下さい。心からお願い申し上げます。

プロフィール

1983年1月22日札幌市生まれ。富丘小学校、手稻中学校、有明高等学校卒業
□通信機器販売会社や広告代理店勤務、会社経営を経て、2015年4月、北海道議会議員に初当選、1期目
□自民党道連政治塾2期生
□家族／妻、長女、次女、長男の5人家族
□信念／信条／縁を切らす義理／人情／凡事先徳
□趣味／野球、スポーツ競技、読書(現在、草野球をしています)

「どんな環境の子供でも夢が持てる社会をつくりたい」

こう思ったことが政治の道を志したきっかけです。すべての子供が国際社会の中で豊かな人生を送れるよう、学力や体力向上させ、いじめ・虐待は絶対許しません。病気や障がいを抱えているたり、家庭環境に恵まれない子供に必要な支援を届けるよう行動します。

③ 教育再生

人口減少や高齢化が顕著な北海道

広大な北海道のどの地域でも安心して暮らせるようになります。そのためには、質の高い医療の確保、女性や高齢者が社会で活躍するための子育て支援や予防介護の充実が欠かせません。

人と人とのつながりが希薄になる中、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子供を育てる仕組みづくりにも力を注ぎます。

② 安心をその手に

① 強みを生かす

北海道の強みである「一次産業」と「観光資源」

道産食品の付加価値向上、輸出拡大に向けた基盤強化、環境整備を図り、北海道ブランドの強化による足腰の強い自立型の経済をつくります。

また、外国人観光客500万人の達成に向かって、本道の歴史・文化など魅力あふれる観光資源を世界に発信し、「観光立国北海道」の実現を目指します。